



会長 岡島達雄
 副会長 中武泰一郎
 幹事 武末喜久治
 例会日 毎週木曜日 12:30～
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1669回 平成22年11月4日プログラム

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング
君が代・奉仕の理想 | 8. BOX 披露 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 各委員会報告 |
| 4. 会長の時間 | 10. 会員卓話 |
| 5. 幹事報告 | 11. 次週例会案内 |
| 6. 出席報告 | 12. 点 鐘 |

2730地区ガバナー 伊藤 学而
 中部分区ガバナー補佐 岩切 昇
 2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう
高鍋ロータリークラブテーマ
 品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求に
 こたえよう

11月の月間テーマ
 ロータリー財団月間

- ・11月の誕生日 尾崎君、日高君
- ・11月の結婚記念日 佐々木君、尾崎君、藤本君、橋口君、石田君、黒木君、井上君、長谷川君
- ・会員卓話＝函師君、山口君
- ・米山 BOX ・例会終了後理事会

次週例会案内；1670回例会 11月11日（木）

- ・血圧測定
- ・財団月間卓話—R 財団委員会担当
- ・終了後プログラム委員会

第1668回 例会内容

■会長の時間

夜間大学

先週、今期2回目のロータリー夜間大学が四季亭で開かれた。

テーマは、黒木敏之君の「私が思うロータリー感と職業観」で、ロータリー哲学から現代の経営理念が学べるか、というお話であった。

当クラブから20名、他クラブから2名、あわせて40名強の聴講者だった。

内容は、殺伐とした100年前のシカゴの世相の中で生まれたロータリーの発祥と発展の経緯を概観しながら、2つのモットー「超我の奉仕」、「最もよく奉仕する者、もっとも多く報いられる」や「4つのテスト」の意味などが氏の言葉でわかりやすく解説された。

米国資本主義発展時代に清新な風を吹き込んだロータリーの経営哲学が、福祉や税制などで所得の不平等を緩和しようとする修正資本主義や、虚業も許容するかとみられるいわゆる新資本主義時代に通用するのかわ、松下幸之助や稲盛和夫氏の経営哲学を引用しながら熱く語られた。

会長 岡島 達雄 君



ロータリーの企業経営哲学は、初心、原則、心を高める、利他の心などを説く稲盛氏のそれと完全に一致するわけではないが、少なくとも矛盾はしない、というのが氏のご見解ではないかと思考した。

地域に開いた形での夜間大学を企画・運営された情報委員長の中田君と職業奉仕員長の永田君、そして講演された黒木君に感謝。お若い会員、新入会員にもっと参加していただきたかった。

鹿児島大学工学部に稲盛会館というユニークな建物がある。この施設は、産官学の交流拠点として、工学部創立50周年を記念して建てられたもので、平成6年に竣工した。今年の文化勲章受章者安藤忠雄氏の設計である。

建設費は数億円と推定される。工学部長から直接聞いた話である。稲盛氏にこの施設の寄贈をお願いに行ったところ、「母校には大変お世話になった。前から何かしたいと思っていたが、即決できない。悪いが、しばらく待ってられないか。」何日か置いてお会いしたとき、「京セラからではなく個人として寄付したい。個人の資産は、家族の協力があって作られたもの。家族との協議の時間が欲しかったのだよ。」といわれたという。

■幹事報告

幹事 武末喜久治君

<文書案内>

*小林 RC 例会変更案内 11/3 祝日休会

11/17 野外例会 ロータリーの森 12:30～

＊西都 RC 例会案内

- 11/2 クラブフォーラム
- 11/9 外部卓話
- 11/16 クラブフォーラム
- 11/23 祝日休会
- 11/30 クラブフォーラム



＊佐土原 RC 例会案内

- 11/3 祝日休会
- 11/10 職場訪問「伊勢化学宮崎工場」
- 11/17 会員卓話
- 11/24 夜間例会

＊第1回ローターアクト委員長会報告

＊中部分区会長幹事会のご案内

日時 平成22年12月8日(水) 18:30～
場所 ホテルマリックス

■米山月間卓話

財団委員会米山担当 橋口清和君

米山月間によせて田村智英地区米山記念奨学委員長より文書が届きましたので全文4枚を代読し、前半と後半のみを週報に掲載させていただきます。



「皆様には日頃米山記念奨学事業に関しましてご理解とご支援をたまわり深く感謝申し上げます。さて、10月は米山月間でもあり、何か米山に関する情報を思っておりましたら、中国との間で尖閣諸島のトラブルから反日学生デモと続いており、米山寄付への影響が心配されております。そこで以前、書き留めていました文書から抜粋して同封の文書を作りました。委員長様におかれましては何かの折にクラブ会員にお伝えいただけたら幸甚に存じます。尚、本ロータリー年度9月末の速報は、普通寄付 203,653,595 円で前年比 2.34%減(490 万円)、特別寄付 155,471,417 円で 13.67%増(1.870 万円)となっています。

米山記念奨学生の累計は現役奨学生を含めて一万五千余名となりました。そのうち日本に在留する学友(元米山奨学生)は約四千名弱です。外交官として日本との懸け橋となる者、経済界で中心的リーダーシップを果たす者、行政・教育・医療・福祉など各界で活躍する者など、多くの学友が活躍しています。寄付の成果でもある学友の活動や社会的貢献について、ロータリアンの関心が高まっている今、学友に関する情報の収集と提供を更に充実する必要がある、そのため本部事務局は各地区の協力を得て情報の収集と提供を図ります。クラブでカウンセラーをされた学友のその後のフォローをお願いいたします。

最後に米山梅吉氏の横顔をご紹介します。

米山梅吉氏(1868-1946)は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、幾つかのアカデミー、大学で8年間の苦

学生を送りました。帰国後、勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を”社会への貢献”とするなど今日でいうフィランソロピー(Philanthropy)の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて緑岡小学校(青山学院初等科の前身)創立しました話は有名です。1920年(大正9年)日本で最初の東京ロータリークラブを創立し会長となりました。正に日本のロータリアンの先達と言える人でしょう。

ちなみに、生まれは1868年(明治元年)没年は1946年(昭和21年)で、ポール・ハリスは同じ年の1868年生まれ、没年は一年後の1947年ですから、享年一年違いの正に同世代の人と言えます。日本のロータリアンの誇りであります。」

◆出席報告

ビジター 橋口博明君(西都 RC)

出席状況

会 員 数	40 人
出席会員数	37 人
ホーム出席率	92.50 %
前々回修正出席率	87.50 %

◆BOX披露

親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

＊福岡直樹君 財団寄付へ。ポールハリスフェローになります。

＊河原好秋君 創業40周を迎える事ができました。



ビジター橋口博明君(西都 RC)



石田君



桑野君



田中君